慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	ワルター・ラカー著『革命の教訓』: ソビエト史論
Sub Title	W . Laqueur, The Fate of the revolution : interpretation of Soviet
	history
Author	中沢, 精次郎(Nakazawa, Seijirō)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication	1971
year	
Jtitle	法學研究 : 法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and
	sociology). Vol.44, No.9 (1971. 9) ,p.143- 145
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	紹介と批評
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara _id=AN00224504-19710915-0143

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

紹介と批評

Walter Laqueur,

The Fate of the Revolution

——Interpretation of Soviet History——London, 1967, viii+216.

ワルター・ラカー著

『革命の教訓』

――ソビエト史論――

門書とはいい難いが、示唆に富んだ指摘が随所に見られる。門書とはいい難いが、示唆に富んだ指摘が随所に見られる。明書とはいい難いが、示唆に富んだ指摘が随所に見られる。門書とはいい難いが、示唆に富んだ指摘が随所に見られる。

史家の手で活字の上に登場したのは、一九世紀にはいつてからのこ した国であるといつた程度のものであつたという。「地の果て」で ラカーによると、ロシアはアメリカ・インディアンの土地と境を接 開かれたわけであるが、当時の西欧における対ロシア認識は、W・ Geschichte"とか、"Russische Revue"といつた雑誌がすでに一九 早くから進んでいた。たとえば、"Zeitschrift für Osteuropäische アと接近していたことから、ロシア研究は他の国と比較して非常に 国人のほとんどが圧倒的にドイッ人であつたことまた地理的にロシ とであつた。とくにドイツでは、ペテルブルグやモスクワの居留外 はないにしても、辺境とみられていたロシアが、西欧の旅行者や歴 Review"が、またフランスでは"Monde Slave"が一九一七年にそ 研究の専門雑誌の刊行は 第一次大戦 の 直前であつたが、 ドイツの 世紀に刊行されている。もつとも、現代的な意味でのロシア・東欧 パイ」であつて、……「信仰をすてたユダヤ人一味の頭目」で……、 こそは、レーニンは「その本名をゴールドベルグというドイツのス といつても、一九一七年の革命をむかえて飛躍的に発展した。当初 トフスクの講和の成立と同時に創刊された)。しかしロシア研究は、なん れぞれ創刊されている(ドイツの月刊誌 "Osteuropa" はブレスト・リ ロシア 研究 に 刺激されて、 イギリスでは 一九一二年に"Russian ているといつた誤つた報道や誤つた解説が相次いだが、より具体的 スクワを脱出し、海外への亡命を準備中…… 「Maximalist」であるとか、ボリシェビキ政府の首脳部はすでにモ ロシアの西欧への窓は、周知のように、ピョートル大帝によつて 新政権は崩壊に瀕し

た。しかし、著者は、ランケ、ティエール、あるいはギゾーが一八故にこそ、専門の歴史家は一般に現代を取り扱うことを 避 け て きす気味悪い誘惑や落し穴」が随所にあることも否定できない。それになろう。また専門の歴史家が指摘するように現代史研究には「うに不足しており、したがつて現代は史的研究の対象となり難いことに不足しており、したがつて現代は史的研究の対象となり難いことところで、「資料のないところに歴史はない」 という観点からすところで、「資料のないところに歴史はない」 という観点からす

的な連関を欠いているわけでは決してない。

であつて、そもそも歴史はすべて現代史であり、また現代史であら 四八年の革命から非常に強い影響を受けたことも否定できない事実 外交官などの著述が手広く紹介されている。B・ペァーズ、H・カ シア・ソビエト問題を扱つた哲学者、社会学者、ジャーナリスト、 家の手によつて取り上げられてきたという。この点に注目して、ロ 命とその後のソビエトにおいて生起した事態はむしろ歴史の非専門 はなく、とくに、二○世紀最大の政治的事件の一つであるロシア革 た領域、つまり参加資格者が専門の歴史家にのみかぎられた領域で ねばならないと強調する。ところが、著者によると、現代は開かれ A・デニキンといつた反ボルシェビキ、A・ポクロフスキー、N・ 著者の短評を内容としている。 これまでに試みられたさまざまな解釈の紹介とそれぞれについての 討されていることは指摘するまでもない。各章はまた、いずれも、 ポポフ、E・ジューコフといつたソ連の歴史家などの解釈が比較検 ッチャーの、あるいはまたA・ケレンスキー、P・ミリュコーフ、 ー、W・チェンバリン、H・フィシャー、B・ウォルフ、I・ドイ

を架橋することであつた。著者がきわめてひかえ目に表現しているビエト史研究の専門家とソビエト史に関心をもつ一般の読者との間とれりのより得ぬことを承知している。一九一七年の革命から、ソビエ教訓のあり得ぬことを承知している。一九一七年の革命から、ソビエ教訓のはないという。勿論、著者は歴史には言葉の厳密な意味での本書は、著者によるとソビエト史の入門書であつて、それ以上の本書は、著者によるとソビエト史の入門書であつて、それ以上の

一般の読者がそれぞれに読み取るものとされている。教訓とは、ソビエト史の専門家の側から与えられるものではなく、

(中沢精次郎)

Paul F. Langer and Joseph J. Zasloff,

North Vietnam and the Pathet Lao: Partners in the Struggle for Laos

Cambridge, Massachusetts, Harvard U.P., 1970,

x+262pp.

『北ペトナムとパテト・ラオ-----P・F・ランガー、J・J・ザスロフ共著

ラオス内戦の協力者達――』

__

ものである。 題を担当しているランガー氏と、同じく東南アジア問題の専門家で題を担当しているランガー氏と、同じく東南アジア問題の専門家で

以後十数年、内戦に明け暮れしてきたその国内情勢について分析しきた。それにもかかわらず、ラオスに関する学術的文献、特に独立二年のジュネープ会議以後、国際社会の注目を浴びるようになつて長く歴史から忘れられていたラオスも、一九五四年、特に一九六

完にない奥行をこの書物に与えている。 完にない奥行をこの書物に与えている。 完にない奥行をこの書物に与えている。 た書物は非常に乏しい。本書は、この内戦の一方の立役者であるパネト・ラオ側と、その強力な支持者である北ベトナム軍の捕虜あるいは逃亡者とのインタビューの結果を豊富にこの研究の中に取りるいは逃亡者とのインタビューの結果を豊富にこの研究の中に取りるいは逃亡者とのインタビューの結果を豊富にこの研究の中に取りるいは逃亡者とのインタビューの結果を豊富にこの研究の中に取りるい。 本書は、この内戦の一方の立役者であるパれ、書物は非常に乏しい。本書は、この内戦の一方の立役者であるパカにない奥行をこの書物に与えている。

さて、本書の内容は次の通りである。

1 Introduction

Part One The Past

2 The Setting of the Lao Revolutionary Movement
3 The Growth of the Lao Revolutionary Movement and the
Vietnamese Role

4 The Drive for Independence: The Viet Minh and the Pathet Lao. 1949-1954

5 North Vietnam and the Lao Communists' Bid for Power, 1954-1962

Part Two The Present

6 The Context of the Current Struggle7 North Vietnamese Advice and Support

8 The North Vietnamese Military Adviser in Laos: A First.

紹介と批評